

沖縄鉄軌道の導入に向けて

沖縄県は、全国で唯一、鉄道を有していない県（モノレールは鉄道ではなく、軌道となります。）であり、自動車交通への過度な依存により、慢性的な交通渋滞など、さまざまな問題が起こっています。

県では、平成30年に「沖縄鉄軌道の構想段階における計画書」を策定し、構想段階の次の段階となる、計画段階への移行を国に求めるとともに、鉄軌道の導入に向けた調査や、早期導入に向けた県民機運を盛り上げるための取り組みを行っております。

鉄軌道の早期導入に向けては、県民の皆さまの鉄軌道を求める声や思いがより一層広がる大きな後押しとなりますので、鉄軌道が走る沖縄の実現を目指して皆さまの応援をお願いします。

想定される所要時間

- 那覇市 - 名護市 約59分
- 那覇市 - 沖縄市 約24分
- 那覇市 - 宜野湾市 約12分

「沖縄鉄軌道の構想段階における計画書」の詳細は、こちらからご覧ください。



正確な運行時刻と大幅な移動時間の短縮で、日常生活や経済活動にさまざまな効果が期待されます。



鉄軌道の導入に向けた県民向けの取り組みの紹介

小学生向け 子どもえきまちづくりワークショップ

令和5年8月 (参加者66名 応募者147名)



「鉄軌道が導入された沖縄はどう変わるのか」を学ぶため、ワークショップを実施しました。都市、郊外、観光の3班に分かれ、建物や線路の模型を活用しながら住んでみたい街や憧れの街を作り、駅を中心としたそれぞれの街の特徴などを発表しました。

講演会 沖縄に必要な鉄軌道と駅まちづくり

令和5年12月 (参加者108名)

東京工業大学の中井検裕名誉教授を招き、駅まちづくりの先進事例を紹介しました。講演会では、神戸市で鉄軌道導入効果体験に参加した学生による移動体験報告も行い、鉄軌道の必要性などを発信しました。



中・高生向け 鉄軌道導入効果体験

令和5年8月神戸市 (参加者11名 応募者74名)

「鉄軌道の必要性」や「駅まちづくり」などを学ぶため、中・高校生を対象に、沖縄本島中南部と人口密度が近い兵庫県神戸市で、鉄軌道を用いた長距離移動(三宮～姫路間)などを体験してもらいました。参加した学生は、駅周辺で住民の方などへのインタビューを行い、鉄道利用の生の声の聞き取りも行いました。



沖縄鉄軌道特設サイトを開設していますので、ぜひご覧ください。早期導入に向けてのご意見もお待ちしております。

[鉄軌道特設サイト▶](#)

